

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年7月26日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

昼から勉強会？すごいね。あんたらち。やっぱり違うね。大分斬れた？斬れそう？

サッチェル：

何とかいけそう。

北野会長：

負けた人が情報発信するとえらい買いやすくやるがやて、本当やよ。一番固い話しやから。どっちみち我々のゲームは絶対に元本がなくなるゲームやから。全てがね。だから、下がったところ、これ買ったんだけど下がると。これで買っても下がったという情報がずっと段階的にあればガサっといけば、必ず。ゲームは永遠にそんなんやて。我々は一番固いゲームで遊んどるわけだから。あとはやっぱり風のどこから冷たい風が来るかなっていうところさえわかれば。あとはだから人生は固く投信をやりながら、平日はお食事代を稼ぐ、これでええやちゃ。だから、30、40弾を取るようになって、もう一つ桁、元本を桁一つ増やせば下も当然、桁が増えるんだから。そんな必死に働くことはないよ。私が言うに本当に必死のような感じするけれども。

真田 孔明：

僕の右斜め前に座っていたおじさんが1億、入れてやるって言って。すごい。サラッといいますよね？弾を持っている人。

メンバー：

今日は質問があったんですけど、楽天証券じゃなくてもいいんですか？やるのは？

北野会長：

楽天証券でなくてもいい。

真田 孔明：

会長は楽天証券でやられているんですか？ほとんど？

北野会長：

そうやね。ほとんど・・・ほとんど。楽天、野村もやっているし。

真田 孔明：

野村は昔からの・・・。

北野会長：

人間関係ね。全証券会社、大手は全部やっている。そのほかに中国株は昔は東洋証券しかなかったもんで東洋とつき合っとる。香港のBOOMはBOOM証券は弾がね、後ろから入れんならん弾があって、そこと今度ちょっと・・・。BOOM証券は2名1口やろ？口座名義は。

真田 孔明：

そうですね。あれができるんですよ。共同名義で持てるんですよ。

北野会長：

共同名義で持てる。ハワイのバンク・オブ・ハワイも共同名義でできる。覚えといて。金がだから変な金がたくさん入って来たときはそういうことをしてこう。

メンバー：

変な金。

北野会長：

変な金。先生が笑っとなるようなときは先生にまず相談する。先生は現実、そういうことをしとるわけやから。していない人はそういうことを笑えない。何のことかな？そういうことも大事。誰がほ、山を取るかちゃ、そんなのわからんからね。こういうゲームは。山ちゃさ、ふと何かパっと思ったときに、やったらガバッと掴むことが多い。だから、間違い、気違い、勘違いって結構あることなんやて。誰がってね、本当に緻密やから計算づくやからいうてね、決まっていなくていいところがね、本当に不思議やわ。そんなことしたら皆さんより頭のいい人はね、居合なんていうのもちょっと一言、聞けばそんなことできるんやて。じゃ、東大の人がやったからいうて成功するか、そんなことはもう絶対に死んでもない。

真田 孔明：

ちなみに売りから入るときに配当があるときに、あれは売りから入って持っているで払わなければいけないとかあるのですか？こっちが。マイナスになるとか。

北野会長：

それはないと思うよ。でも、信用買いしとるときは入って来るわけだから。

真田 孔明：

信用売りのときに。

北野会長：

それ反対のことあるんかな。

真田 孔明：

あの人、証券会社に勤めているんだっけ。

北野会長：

そうやって言ってた？

サッチェル：

会長はどうされているのでしょうかって質問があったので。

北野会長：

俺は本当にね、そんな細かいとこまで知らない。

真田 孔明：

証券会社に勤めている方がいらっしゃって。

サッチェル：

でも、感動されていましたよ。これはないです。

真田 孔明：

今まで見たことないって。

サッチェル：

今までこういうやり方は知らない。

北野会長：

株をやっていた人が？

サッチェル：

証券会社の人。

北野会長：

ああ、証券会社の人であれば騙して金を借りさせる係やから、本当よ。でも、例えば信用売りにしろ買いにしろ、せいぜい年間3分やっていうんやから。投信、片っ方で信用をやっとっても3分の話しやて。俺はなるべく早く手仕舞いをするから3日や2日や。その日の場合も365分の1取るのかな？あれ？

サッチェル：

取ります。取ります。

北野会長：

やっぱり取るの。

サッチェル：

取ります。取ります。

北野会長：

1,200、今、15円。1209円から少し上がったんやろ。300万以上は。確か。1,215円ぐらい。

サッチェル：

会長は弾が違うからむしろかからないのかもしれないですね。弾を持っている人はかからないですからね。手数料は・・・確かに。昨日の話で。

北野会長：

全てそんなんやよ。覚えといて。弾の量。わかった？弾の量。これで全て経済は全て変わる。弾さえ豊富なら、みんなほ、稼いだ金で勝負するいうたらもっとビビる。僕は借りたお金やから。借りたお金やから、ゆっくりそこを使っとる。そんなにバカ使いはしないから。全てを質素に生きて使っとればさ、利息は払っとるやよ俺は。ピシッと。利息は全部、払ったきゃさ、弾さえどんどん余れりゃ全部、来るわいね。こっちは下がりて金は下がってくる。どんどんもらうようにして・・・まあまあ今日も皆さん、ご苦労さまでした！（乾杯）

メンバー：

ご苦労さまです。

北野会長：

せいぜいあと一つ、昨日、言ってた全体が悪くなったムードが悪くなったリーマンショックやとかさ。この間のギリシャから中国に入った。ああいう話しはみんな知っとるわけでしょ？うちに新聞がない、ラジオがない、テレビがない人はいないんだから。それをどう感じ取るかでそれが一番おおごと。これで山を掴む人と普通の人との落差が決まるだけ。

メンバー：

はい。

北野会長：

簡単さ、ここ山が来たときにガバっとう。勝負できるやつが取っていく。毎日ね、居合なんてあんなチョロチョロやって遊ぶ。あんなもんいくらやったって、月弾を取るようになれば別だけど。そっでもね、1年間、抜いたって1億2,000万。一気にこない、わかった？そういうことをちゃんと計算の中に入れてやっとならばさ、人生、一度やからどこで勝負すかを自分が決めるがや。わかった？自分が決めるんやよ。一番大きな山はこっちの切り方。これしかないんや。こんなもん、どんだけ斜めに引っ張ってってもせいぜい10円も抜けて喜んどらん。あとは単価の高いものを掛け算やから、50円、100円いうて上がり下がりするTを例えば1万ずつ、勝負しとると。そしたらサラッと100万ぐらいね。これ朝晩。こういうこと。そのお金も日々チビチビと貯めていけば、やっぱりチリも積もれば山となるで、年間100回取りゃ、また1億はできる。常に掛け算をしながら、常識的なことがみんなわかっているんやけど、基本を知らんといえいいのかさ。だから、どういうの。ペーパーで、勉強するやろがね、本で。そ

うすると、やっぱり本が主体になっていってうまくいかんやて。学校の授業でないんやから。やっぱりそういう細かい1円とかさ、細かいレースを自分で取れる、考えられる力がないと。

真田 孔明：

ちなみに普通に物販をやっている会社が何か案件をつくって先生にお願いしているときにどうい案件がいいのですかね。例えばうちの弟の株式会社とか。別に物販にこだわることはないんですね。

北野会長：

全然、関係ない。シッポを振る練習をしておかないと片っ方だけ、犬でもね、片方しか振らん犬がおるらしいから、両方を振る練習、わかった？これが大事。世の中はみんなそうや。水心あれば魚心あるんやて。昔から決まっとる。だから、甘い物を掴みたいと思ったら自分もどうしたらいいかをゆっくり考えておく、わかった？ゆっくり考える。だから、いろいろな策を持たないから成功せんわけや。だから、朝から茶碗を洗ってさ、コップを磨いてさ、スコップを持って穴を掘ってとってもなかなかうまくいかんよちゅうこと。それよりもやっぱしどうしたらいいか。これ。どうしたらいいか。たった17億や。こう考えりゃ、俺の精子なら5回分か。これぐらい軽く思われるようになると人間はちょっと強気になれるやて、わかった。これをチビチビ働いて返そうなんてそんなしんどいことを考えるとビルの屋上から飛び降りたほうが楽だ・・・こうなる。だから、苦しいとか苦しくないっていうよりもどうしたら自分が生き延びられるかを。

メンバー：

わかっていてもできない。

北野会長：

でも、俺の場合はをすごくどういの。後ろに下がらるのが上手。50歩100歩、言うてね。100歩でも下がるタイプ。相手が押してくれるとどんどんどんどんバックギアで下がっていくがやて。相手がいなくなるとまた前進する。こういうようなことを繰り返してわけ。だから、むやみに戦争する必要はない。まずは、例えば元本の今、返済をやっとるやろが。ね。まず、金利を安くするために1回、中断して紙に変えて手形に変えて。ちょっと今しんどいから1回、手形に・・・6カ月だけ手形で回してくれんか。これが第1回目や。6カ月経ったら、いや、もうちょっとそのここに問題がある。この最初の6カ月のときに返済するお金は銀行に積んでおくが？こうやって。銀行にしたらさ、貸金ちゃ、銀行の売上やから。必死に返す必要もない。でも、銀行にしたら貸金は同じだけど、預金はどんどん増えてみよ。一番儲かるのは誰や。銀行に決まっとるやん。そうやろ？6カ月経ったときに言うわけよ。借りとお金、もう1回、紙に書いて判子を押して。また、そのお金を積み立てしておくが。お前、その誰が考えたってわかるやろ？貸付は売上やってこの間、教えたやろ。そんな、お前、支店長、売上なんか減らしたら嫌やろがよ。お前、バンバン、利息。そこで今度、こっちが追い込みをかけるん。この前のこの2%は高すぎると。支店長、今、コンマ6ぐらいの時代やから。その中を取って何とかして

くれんかと。こういう具合にヤワヤワと詰め寄るこの仕草が下手なん、あんたらちは。こうやって見とるとやよ、わかった。

メンバー：

はい

北野会長：

これね、金を引くときは先生ね、この滑らかさだけ。例えばパッと朝、支店長に会ってさ。「いや、支店長、何かすがすがしいですね。そのネクタイいいね。」言われて、そんなに気分悪いやつはいねえやろ？「おお、そうか、野郎、俺のネクタイまで見とるんか」と思うぐらいのもんや。いやいや、今度さ、1回時間があったら支店長、居酒屋やけど、ちょっとだけ、ちょっとだけつき合はん。つき合わせてくださいみたいなことを。そんなにね、お世辞に怒るもんは余りおらんが。本気ならもっと喜ぶやろ？これを毎日、練習せって俺、最初から言うとりんやけど、まだ、お前、綺麗ですねとか、結婚をしてくださいとかさ、前提とか言ってわけのわからん話しやけど、これを軽やかに言えるようにならないと弾なんて引けんよ。何千万、何億ぐらいの弾を引くんならいいけれども、もっとデカイ弾でさや抜き興業をしとるんやから・・・わかった？1%で借りて、例えば21%で回ったら20%は俺の得やっていうのは俺の商売や、考え方やな。あと各会社に社長をつくったらみんな社長に言うとり。若き社長よと。銀行の支店長をいかに口説いて融資を取ってくるのが君らちの仕事なんやから。商売はそんなに必死にやるな。そんなもん、せいぜいチョコチョコと帳簿をつけて。数字を置いてあるだけやろ？

メンバー：

はい。そうです。

北野会長：

会社は。数字が置いてありゃ大丈夫なんやから。みんなほ、純真やからなかなか受けることができない。そこはダラになってそこを練習しないと。練習やよ。

メンバー：

同じ銀行にお金を入れておくわけですね。

真田 孔明：

借りたところにまず。金を入れとるけど返済はせんが。わかった。

メンバー：

そこがポイントなんですね。

北野会長：

ここが一番味噌と醤油なんやて。こうすると「じゃ、この人は一体、何で俺に6カ月も頼んどったのかな」わからんやろ？実を言うと本当はいるなと思っとったお金がいらなかったもんで、

とりあえず手形に換えてもらったんやけどって言って金を積む。これを2回やると絶対にその次からはわかる。金はこっちに入っとるんやから。こっちは利息は定額で入っとるの、銀行には。わかった？支店長にしたら売上を減らす必要はないんやから。売上やよ。世の中で娑婆で一番大事なのは売上。そういう具合に理解していけば銀行の支店長を口説くんじゃなくて、理解させるんや。「支店長、売上を減らすよりも増えたほうがいいでしょ」と。昔、俺ドカンと1回、何億か返してあげたことがある。ちょっとホラを吹いたら「そこまで言うんなら返してください」言うので。「バカ野郎、お前。気分悪いから」言って。小切手2億切ってくれ。返済や。もらって行った担当者がさ、若造、生意気なもんで取って来たみたいなことを言うたんやて。支店長、3本指で。「いや、こんなことされてもね、田舎の銀行だから持って行きようがないんや」と。持っていき用がない、ほかへ。「そんなこと、だって言ったのは、ケンカを売ったのはお宅の銀行やから。僕は受けたわけじゃないけれども」「いや社長、もうちょっと上乘せして出します。安うしますよ」というから「俺はよしわかったと。ま、ちょっとだけやから、1億ほどでええわい」ポンと。2億返して3億もろうてみ。お前。何をせんでも1億、儲かる。こういう・・・

真田 孔明：

つばめ返し。

北野会長：

こういう返しのこういうことをやっぱり普段から考えたり鍛錬しておかんとできん。そんなね、アハハいうとっけど、なかなかできない。あとは笑顔でいかに詰め寄るか。あんたらちみたいのに恐ろしい顔をして女の尻をカッと見とったら女は逃げるよ。そうやろ？まめによいしょにプレゼント。頭の中に入れておかなきゃ。まめによいしにプレゼントなんよ。毎日の鍛錬が。毎日、自分のかみさんを見て、あ、綺麗やね。今日も愛しているよと毎日言う練習をしとればね、これぐらいはへっちゃまでできるようになる。結婚してまだ44年ほどやけど、毎日、言う練習をしとるの。これこそまさしく大事なことなんやて。言うたことないやろ？

メンバー：

あんまりないです。

北野会長：

あんましない。恐らくあんましない人は全くないやから。笑 これをたまに言うたらものすごい難しいから。

真田 孔明：

たまにのほうが緊張しますね。

北野会長：

たまに1回、言う・・・

メンバー：

どのぐらいの頻度で銀行の支店長のところへ行けばいいんですか？半年にいっぺんぐらいですか？

北野会長：

そうじゃなくて、やっぱり一番いいのは人間関係やから。相手は忙しいやろ？だから「支店長、どうも。どうも。今日、空いてます？」と電話するの。ほとんどね、5回電話してもね、ま、失礼やけどあんたらちが電話しても3回から4回、4回はパスや。5回電話がかかってきたら、ま、1回は、しつこいやつやなってね、1回、出て行こうかいう程度のもの、世の中は。まして何千万の小さい案件に支店長が呼び出されてさ。居酒屋でさ、グチグチグチグチこねられても弱る。だから、やっぱりそうやって商売の基本、まめにやろ？電話だけはまめにしておくの。女を口説くのがて一緒。ここが大事なわけよ。商売の基本。

サッチェル：

支店長がいいんですか？やっぱり、それとも・・・

北野会長：

まずは担当やろ？

サッチェル：

担当ですよ。

北野会長：

まず担当。担当でも支店長代理とかできれば役職がついたまず人を引きずり込むと。次に支店長を引っ張り出すと。今は全然、違う時代なんよ。皆さんは自分の歳と借入金額を比較しとる。でも、銀行は借りてくれる人がおらんとどんと貸したいわけ。昨日も言うってたけど、融資が足りない銀行は合併していただくいうことになっとるんやから。合併したらね、課長代理とかさ、支店長代理なんて取った会社はいいよ。取られたところなんてそんな窓際族みたいなもんやぞ。

真田 孔明：

いないですね。

北野会長：

こっちはあっちの銀行やからってこう言われたらもう終わり。これが世の中や。これはすごいよ？今度の戦争は違うんやから。これでまだホント200兆も印刷して出したら、200兆やから。

メンバー：

また刷るんですね。

北野会長：

今、刷りたいってずっとやっとなんやけど。

真田 孔明：

200兆円ったらどのぐらい株が上がるんですかね。どのぐらい株価が上がるんですかね。

北野会長：

最初、あんたらたちに会うたときから言ってね。8,000円のときに俺が聞いた話しやよ。とりあえず、日本の株価はもともと下がった39,800円。4万円じゃね。4万円まで戻さんといかんと。これがもともとの発想なんやから。今やっとなんこのゲームの。まだ12,000円やる？でもね、株式市場の規模は五百何兆円で2万円そこそこになれば、もう来とるんや・・規模は。金額規模は来とる。ところが皆さんも昔、日本がダウ4万円やった日にアメリカのダウは5万円やった、5万円。もう大差なかった。背中が見えた、アメリカの。そこから転げ落ちた国もおったけど・・8,000円まで。片方はずっと上がっていったわけや。何が大事？経済の中で皆さんも知っとるとおりや。やっぱり株価のがちゃ。結局は株価が一番大事。株価が世界を、資本主義社会やから。株でみんな持っとるんやから。あんた、自分ののは持ってきたの。（食事）

メンバー：

持って来ました。

北野会長：

これ俺のがかい。

メンバー：

もし、よろしければ。

北野会長：

本当。俺、何でもええんやて。サメと一緒にやから。貸してもこういうことない？商工中金とかさ。政策銀行とか。何々銀行とかいっぱいおるやろ？みんなに声をかけとるわけよ。俺が声をかけんでも、「会長が会いたかった」って言うのと。「支店長のこといつもこう褒めてましたよ」みたいなことを一生懸命、ギターを弾くように。わかった？ソングやから・・歌は。だから、仕掛けがもう全然、足りんわけよ。俺が言っとるのは。仕掛けが大事や。自分で自作自演をやっとってもあかんのやて、これは。やっぱりね、三味線を弾く者と歌を歌う者と両方おらんとうまいかんやて。こういうゲームは、わかった？だから、若い社長がまず支店長をおだてると。まず、担当者から支店長までどうやってつなぐかと。こういう具合に考えるとものすごい綺麗に見えない？こういう具合に。その図面を俺が描いて各担当者に渡してあるわけよ。それで、社長が一つの例えば商工中金から金を引いたいうて。やり方をみんなに教えるわけや、わかった。昨日も言ったけど、みんなで話し合えば彼が、あの社長が取ったと。取り方を習えと。こういうことよ。俺しゃべらんでもいいやろがよ。そうやろ？次にお前、政策銀行がちょっと金利が高かったけど取れたと。じゃあ、お前、その取り方、みんなにまた伝授せと。

こういうことを永遠にやっとなるわけよ。わかる？日掛け、月掛けでそんなもん元本を返しとってもいいんやて。どんどん新しい銭さえ、取ってくりゃさ。返す銭よりもお前、借りる銭のほうがデカいに決まるとるんやから。返すのは例えば1,000万、借りて20万ほどずつ。借りるのは1,000万ずつ借りるとるやね。ハワイでも最初に言うたけど、汽車のね、頭を返済すると。こうやってね。ここはもっとデカイ尻尾をこうやって引っつけていけばいいわけよ。わかった？汽車やから。走らにゃあかんからね。グーっとかうやって長くしてあの瓶までつなげるわけよ。そしたらどうなるかいうことを考えてみいよ、わかった？ただ、それだけのことなんよ。みんな、難しく考えとるけど、電車にしてこうつないでしまふんやて。返すのは例えば2,000万ずつ返しておく。尻尾のところで2億ずつ弾を取っとりゃ絶対に俺が勝つんやから。こういうことを考えとるんやて、日々。だからあとは固い商売をやっとなるとかね。毎年の試算表が。決算が黒字でかつ納税の銀行の納付書にパンと判子が出とる。

真田 孔明：

それで仕事を変えていないと。ずっと同じことをやっていると。

北野会長：

そうそう。ただそれだけなんやて。

真田 孔明：

同じ物販をずっとやっている。

北野会長：

そうそう。物販をやっとなると。あとは会社の数掛ける融資やからね。だから、会社もたくさん10社か11社か、それぐらいあるがやて。

メンバー：

たくさん。

北野会長：

そうやるがね、女でも1人より。楽しいやろ？そういう具合に自分を偽らず考えると答えちゃうもう明白に見えとるわけや、そうやる？もう明白なんやから。こういうことは。俺は1社よりも2社、2社よりも3社さ。商売なんて考えてやるんやよ。むやみにさ、物販や、物販やって無理して物を売ってさ、回収もできんことみんなして、最後は自殺するか飛んでイスタンブールになるんやから。そういうバカなことをするな言うて俺は一生懸命、みんなに言うのとるだけや。みんな若いから。考えて図面を描いて、これは間違いないなと思った図面でも国立競技場みたいに流れることもあるんやから、気づけて実践に移さんとあかんよっちゅうことを言うのとる。

真田 孔明：

あれだけの権力者がやっても。

北野会長：

そうそう。いかに権力者がやってもああやって滑ることはある。

真田 孔明：

もうリーチ目が目の前にあったのにあれ滑ったんですよね。あれ。

北野会長：

人間ちゃ、そんなもんや。甘い話しほどズれるもんや。

真田 孔明：

元首相がご立腹だった。本当にご立腹しているもんね 笑。

メンバー：

元金は全く返さないんですか。

北野会長：

元金は返しとるんやて

真田 孔明：

だからあれですよ。返し続けていいんですよ。ちゃんとずっと。

メンバー：

利息は払いますよね。

メンバー：

元金も・・・

北野会長：

これは手形でね。銀行の支店長にうまいこと話をして、これを例えば20億円の手形。横判と判子だけなんやて、そうやる？あとは金利の後払いか、それとも先払いか。1回目は俺ね、必ず支店長も俺もわからんから後払いにしてくれって。これを更新する。6カ月たったら更新せんならん。このときに俺、必ず言うが。「うち、何か口座にいっぱいお金あっから先払いにしておいてくださいよ」って。このサラっと言ひ方。先払いにしといてください。サラっと言ひわけや。支店長も、お、やっぱり野郎、金、持っとるんやなと思う。お願いしますいうて今度、先払いになるわけよ。そしたら、今度、1年半たったらここや。「支店長、今回も先払いでいいんじゃないの。支店長。お互いに人間関係もあるしさ。でも、支店長あれやよ。先払いにするからさ。ちょっと金利、ね。並みにしてよ。並みに。特盛でなく並みでいいんやから」笑
こういう具合にお願いしていくわけよ。それは一番頼みやすいのは居酒屋よ。居酒屋からもうちょい芸が伸びたらスナックや。なるべくこれが数多いところに連れて行って。支店長の目がどこへ走っとつかを捉えにゃあかんのよ、横におって。支店長がこうやっとなつけど、どこかで

必ず目ちゃ、止まるやろ？この止まったところをおし、お前、ちょっとこっちに来いと。なるべくは自分はトイレでも行っとればいいが。カウンターに座ってちょっと、生をいっぱい寄越せと。喉が渴いたみたいなことを言うとりゃ支店長はその子と横でしゃべっとられるんやから。それぐらいが芸術やて言うてる。基本はそういうこと。

メンバー：

皆さんが受けている保証協会つきの先の世界、手形貸付で元金ですっと返済なしでいけるっていう話し。まだ、なかなかそのレベルまでは・・

真田 孔明：

でも、このゲームは物販をやっていれば元本ごと返していてもさっき言ったように列車がどんどん伸びていくので。返していく額より融資の額のほうが多いので。決算書が綺麗なので。ということは列車は伸びるしかないんですよ。わかりますよね？元本ごと返していくら。返しても返しても貸してくれちゃうので。

メンバー：

入ってくるお金のほうが増えるってということですか。

真田 孔明：

関係ないんですよ。元本は。

メンバー：

それで行けちゃうんですか。

真田 孔明：

当座何とかってというのはなったらまたその勝負に出るってことですよね？信用がついてくるから。

メンバー：

プロパーで・・

真田 孔明：

最初ほら、どっちみち信用ないんで。僕たち。そんな無理してもしょうがないんですよ。ずっと返してる。

メンバー：

普通にちゃんと返済する。

真田 孔明：

5年、10年ってずっと中長期で。

北野会長：

でもね、途中でね、フェイントはかけたほうがええんやて。フェイントはかけて。だから、今、返しているやつちょっと今ね、思わぬことがあって金があるもので、とりあえず6カ月だけ堪忍してくれと頼む。一応、提案やから。だから、そこでパッと言う、サラッとこれも売上は変わらず、利息は余計に入るんやから銀行も損じゃないでしょ？と。その保証ぐらいしときますよいうてさっき言ったこっち側で預金しとくがやから、わかった？

メンバー：

その分を預金しとくと。

真田 孔明：

この預金は法人口座で預金ですか？

北野会長：

個人でも法人でもいいんやて。

メンバー：

金を持っているってことを見せる。いざとなったらあるよという。

真田 孔明：

個人口座でいいね。

北野会長：

あるよと。でも、相手はそれを押さえるちゅうことはできないんやから。ほんで支店長が忙しい、必ず忙しい日が来るがやから。そのときにパッと預金を下ろして、楽天に入れておくわけよ。それで、次に会うたときに、「え、何か下ろされたんだってね」みたいなこと言われて。「今はちょっと人に言われて「東京案件」をやっていると言うわけよ。

メンバー：

こっちに入っていると。

北野会長：

「あれ、利息ほとんど金利、変わらんぐらいですね」この嫌がらせ。去年あたり利回りがいいから去年あたりこれをやられるとビビるわけよ。「いや、会長、すごいところ・・・」「支店長やったら首になるよと」金融関係が手を出したらあかんのやから。だから、俺はそこでジョークで言うわけよ。「支店長も弾、余とったらさ、俺にもっと融資さられ」って。これ風やから。昨日言うた風な。風がどっから。そしたらここに保証書があるみたいなもんやろ？楽天に。これはiPadやぞ。iPadやぞこういう具合に見せるわけやて。ここがやっぱりね、商売ができるかできんか。これさえ持っとればここに保証金を積んどるみたいなもんや。支店長、最近ね、ACあれもいいんだよね。今月300万入ったからちょっと飲みに行こう。支店長、スッと来

るよ。スッと来る代わりに俺もスツと言うがやて。いや、金、支店長、融資、足らんのやったら俺、融資ね、うちの会社たくさんあるから。全部、黒字だからどこの会社でも融資してって。こうやって泳がしておくわよ。

真田 孔明：

決算書、綺麗だし。

北野会長：

決算書、綺麗。ピチっとしとるんやから。

真田 孔明：

実態経済がちゃんと入っていて、ヤクルト代も入っている。この端数の。

北野会長：

これが大事。これは大体、無駄遣いはしないんだ。交際費、少しは飛行機に乗って遊んどるけど。このように言う相手も、「10社にしたら結構、使っていますね」みたいなことを言うけども、そこは支店長ね、男やから少しは食事したりさ、人生は短いと。人生はライフ・イズ・ア・ショートや。こうやって言っとるわけよ。それを皆さん、今日の一番、講演の主題にしたほうが本当はいい。金っていうのは取った金も労働した金も同じ色をしとるがやて。借りた金やから言うて赤いとかさ。

メンバー：

ないですからね。

北野会長：

盗んだ金やから真っ青やかそんなのないんやて。1万円札はいつも君の上に微笑んどるんやから。わかる。微笑みを分散したほうがいいわけよ、わかる？ こういう具合に考えてこれから経済を生きると全然、違った。あとは俺みたいにどんどんこうやって酒を飲んで、いかに愉快的な顔になるかやな。怒ってっても金は絶対に引っついてこんよ。一番、危険なのはサメよりも・サメじゃないよ。嫁と女は気つけんなあかん。これ金を掴むとね、女ちゃね、目を潰しておっても誰がこの中で金を持っとるかね、匂いがわかるんやて。

真田 孔明：

本当ですよ。急にモテだしますよね。金を持っていると 笑。

北野会長：

金を掴むとモテるが。ところがね、それを俺は金を掴んだぞ言うて女に言わんでもちゃんと女はさ、その匂いでもうわかるんやて・嫁も一緒。嫁もそっと隠しとっても、居合抜きの金をずっと見とるからすぐね、いらん買い物をして歩く。この二つ、この二つの生物は二つとも、生物的な問題やから。本気、出して怒ってってもダメ。いかに癒しながら、少しずつドウドウ

ドみたいなもんでさ。切る必要はないよ。この二つに食われ始めるとあっちゅう間やから、そうやる？

メンバー：

笑

北野会長：

金を使ってもいいがやて。だから、物を取り上げると反発で夜が怖くなる。そのうち寝首をかがれる。女ってそういう生物なんやから。あれは子どもも生めるし、生物としては凶暴やから。心に描くものは女のほうが男よりも凶暴なんよ。覚えとかれ。お前ら、絶対にだから甘い顔して脇を空けとったらすぐ殺されるよ。目、開いとるうちは男はきつついんやて。でも、寝とる間は女はきつついんやから。そういう具合に二分割して考えとくと気を張って寝とる言うても無理やるがい。だから、お前、普段からやっぱりね、ギターを弾いて、テーマソングを愛のテーマソングでも練習しておいたほうがいいよ。だから常にエサを与えながら。朝は綺麗ですねと。

メンバー：

一応。今日は忘れちゃいましたけど、一応。

北野会長：

今日は。はがつくようなことを・・・今日もにしておかなきゃ。今日も明日も明後日も。目、覚めた瞬間。顔を見た瞬間に「今日も綺麗ですね」と。これぐらい言える男じゃなかったら世の中で間に合うわけないやろ、お前ら。そう思わん？そうやる？まずは挨拶。学校に行ってもおはようございますとかさ、幼稚園からそうやって習っとるんやろ？一生懸命、習ったことは実行せんとさ。掛け算やら割り算やらだけ、少しできると。そんなんじゃ間に合わん。まず、挨拶から、わかった？挨拶。これが一番大事。挨拶が一番大事。

北野会長：

何でもね。お互いに。信頼関係が大事や。支店長も信頼関係。それと銀行の支店長はいい支店長なら3年以下やから。わかった。そういう具合に。だから、なるべく幅広い人を相手に3年以内を見切りながらレースを組んでいかにゃあかん。

メンバー：

3年以内って、3年以内で移っちゃうってことですか？

北野会長：

いい支店長はね、大体3年以内、バンと金を出して。ということは融資した支店長ちゃ、回収のことは全然、考えんでもいいわけや。お前ら、計算してみいよ。その計算を。だから、あんたらちのほうが大体おかしいんや。我々は売上先やぞ。売上先。支店長からよ、売上の対象や。帳簿上は先生が言う借入金のところに入っとるんやて、売上が。わかった？これだけの単なる

違いやん。ちゃんとその利息もちゃんと立ててくれるんやから。何、そんな心配して返さんな
んとかさ、必死に考えることはない。全部の銀行となるべく幅広くつき合いをしてチビチビと
ドレミファソラシドの練習をしとればいいやて。この電車を1両列車の頭を返済するかいね。
そこに瓶を取って来るんやて。コップに5杯分は入っとるやろ？もっと入っとるちゃ。こうい
う具合につなげておくわけやな。そこまで次も、もうちょっと次の瓶のところにイケイケとこ
う、これをやっとなるのがまさしく俺のがちゃ。

メンバー：

だんだん増やしていく。

真田 孔明：

だんだん増やしていくっていうか増えていくっていう。

メンバー：

融資額が返し続けて・・・

真田 孔明：

でも、それ複数の銀行でやっているともっと列車が長くなりやすい。

メンバー：

複数から同時に借りるわけですね？

北野会長：

複数から同時に借りるんじゃないくて、やっぱり担当をつけておくとそんな一緒な時期、今、特
に公正が強いから、そのたびに最後の会長決済せんといかん。紙に判子、押さんといかん・・・
判子。このときに出ていく。支店長、握手して、ありがとうございます。この拍手が全て。今
度、飲みに行きましょうと。バンコクでも・・・暇ならバンコクでも。

メンバー：

爆笑

北野会長：

こういう雰囲気人間関係をよくするがちゃの。人間ちゃ、だから一緒やて。そういうまだ営
業をしたことないやろ？俺なんかそれをサラっと言えるんやもん。スナックに行って。そこで
グッと勢いのついた支店長がクラブ「社長、どこのクラブに行っているの？」みたいなこと言
うから、「じゃあサラっと言って。解散しましょよ」みたいなことを言うてクラブに行くわ
けやないかいね？そうなると攻勢は、力は今度、実権はこっちや。俺は「あの会社もさ、支店
長、つき合いがないしさ、とりあえず3,000円ほど弾、入れてくれんかね」みたいなことを言う
わけよ。その先に横の女の子に空気を入れにゃあかんよ。右足で。お前、いい接待せと。こ
うい具合に仕掛けていくわけよ。そうやろ？「いや、この支店長、すごい人でさ。マリちゃん、

この支店長、金、ザルや」みたいなことを言うと、そこで「支店長ね、あの会社に3,000万ほど。別にね、マリちゃんにやるわけじゃないよ。うちの会社は必ず返すよ」みたいなことを言うときゃさ。そうか、そうかと。酒も余計、入るぞ。人間ね、一口ぐらい大体、失敗した言葉ちゃう。そういうもののよ。やっぱりね、酒の入って酔いが回るとちょっとずつ脇が空いてくる。ピノキオみたいなもん。笑

メンバー：

笑

メンバー：

女性の場合はどうしたらいいんですか？接待は？

北野会長：

接待は本人自身がやるとね、やっぱりきわどいところまで勝負せんらんから。そうやる？旦那もおることやし。普通の独身の女の子やったら、そんなもん、バカ野郎、バンと行って弾だけ取って来いみたいなこという。この俺の軽さがすごいやろ？バカ野郎、弾だけ取って来いて。何か、何の弾やみたいな。笑 これも大事なことなんやて。若い女の子が起業するときにやっぱり押す男がいないと若い女ちゃ、前に出ていかんが。男と違うんやから。だから、足でバンと押すこの男がおるわけや。俺じゃねえよ。俺は純情やから。だから、そういうのを繰り返して融資・・・本当はね、今、笑ったけど、1パーで借りて20。例えば11パーでいいっちゃ。利回り、投信だけでも11%ぐらいみんな取れるものもあるんやて。差額10や。11引く1やよ。10やろがね。10%。お前、例えば10億、借りていて10%なら、1億や。一生懸命、仕事をしても1億、儲けるのは少ないよ。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

そうやる？じゃ、これを10億を100にしてみられ。100で1割。いくらやね？

メンバー：

10億。

北野会長：

10億や。1,000億円、借りりゃ。

メンバー：

100億。

北野会長：

だから俺が初めて孔明さんにワイン4本も飲ましてもらうて酔っぱらってさ。「バカ野郎、お前、孔明、俺の1,000兆、俺、借金したいんや」って言うたら、今日のこの失敗につながってる。また、結構飲みっぷりいいですねって、どんどんどんどん。俺もさ・・・

メンバー：

もはや孔明さんはその達人だった。どんどんどんどん会長、脇が上がって。脇を上げられたと。

北野会長：

脇がピノキオのように。笑 俺は今までね、結構、口が堅かったから要は大体、言わんと思うとったんやちゃ。何か居酒屋で飲んだ後、うちに事務所がどうやらこうやらってヘチマやら言うて、事務所に行ったら女の子もおって、ま、いいコップでもなかったけど飲んだら、お、なかなかおいしい、ワインが。1本目までは冷静で、もうちょっとしたら帰らんなんなと思って。つつい2本目が出たときワインのほうに目が寄ってしもうてさ。もう、1本ぐらいならね、平常心で大丈夫やろと。3本目を飲んだらもう・・・何か質問が多いもんやから。子どものようなことを言うとなと。お前、銭の儲け方はそうじゃない、こうだよみたいなことをそのときに言うたわけよ。あれからもう、3年経ったか、4年経ったか知らんけども、でも、本当はね、俺はこれを図面に描いた男やから、自分の。

真田 孔明：

一からですね。無から。

北野会長：

そうやる？だから、騙しはせんわけ。これを実行犯やから。いろいろ考えたわけ。一つの会社より二つ。二つより三つ。いう具合に今度、掛け算的にものをやっていくと会社の数は10個ぐらいがいいなと。借入金額もたくさんあったほうがいいなと、だから原点ちゃ、いろいろなところにあるわけよ。皆さんが考えとる以上に俺は苦労しとるわけ、苦労。苦労は何か今になって考えてみると持っているものをいらないものを切っていく、これが一番楽なんやね。これするなら左手、重いやろ？数珠つけとる人もおるな。お参りしてる？

メンバー：

お参りもたまにします。

北野会長：

本当。いいことやわ。だから、いらないものを身ざれいにしていくと人間っていうのは何が何かっていうのがはっきりわかってくるようになるがやて。だから借金もあると思うからしんといんで、返さないじゃなくて、返したくないじゃなくて、どういのかね？本当は俺ね、国のために本当は働いとる。元本を返さんと。ずっと利息だけ俺みたいにな。どっとこどっとこ払っとりゃさ。国もいいやろうなと。俺が金貸しやったら、一番、俺みたいような借入人を望むな

と思うやて。元本は返してくれんけど永遠に利息は払ってくれると。万が一、返してくれるたら全額、すぐに返してくれると。いいやろ？このスタイル。今、東芝が新聞に出とるやろ？

メンバー：

普通にありますね。ああいうのは。

北野会長：

あるがやね。だからライブドアみたいに若くしてちょっとイケイケやったら命取りになることがある。歳いったね、70過ぎの人がね、何ぼ悪いことをしてもね、誰も懲役でも余りかけんが。そうやろ？目立った若造が目立ったことをするから刑が発生するわけや。だから、ある程度、歳が落ち着いたら我々でも、もう64やから逮捕はないやろなと多少のことはしても・・・と思っとるんやけど。行儀が悪いといつやられるかはわからない。だから、清く正しく美しく。70ぐらいまではね、余りデカイ山は踏めんなところと思っとる。

メンバー：

大王製紙の社長が50億ぐらい使いこんだのありましたけど。

北野会長：

あれもね、本当はシンガポールの博打場で使ったという話しなんやて。あれは話しやから。あれ刑の執行もやられとる、撃たれとるはずなんやて。ところがあの話しが本当なのか天ぷらなのかっていうのは俺は難しいと思うんやて。博打場と競馬場とかさ。今日も馬、走しとったけど。ああいうところのお金ってはっきりわからんから。ロト6で6億円、当たった。当たっていうもんも本当みたいし、持っとるのか持たんがかはっきりわからんやろ？あんなもん。だから、そういうとこさ。だから、生き金、死に金っていうのは山っていうのはそういうところにあんがやちゃ。一番いいのはね、金を持たと借金を持つとこの人は悩む必要がねえから。どっちかの。だから難しいの。金を持っとると金っていうのは今、みんなないからちょっとね、金ほしいなと思っとる。金を持つとね、金の悩みがたくさん起きるんやわ。本当に。3,000や4,000で投資案件、何でも踊ってもいいんやて。これが去年みたいに津波のように5割ずつふえてきてみら。本当にね、うれしいような迷惑なようなもん。そういう具合に思える日が皆さんに来たら、その日は自分が幸せになったと思って。本当に。ところがね、わしらもラスベガスのおじさんらちも一緒やけど、金がほしいんでない。海に行ってね、船から塩水を1杯飲むやろ？塩水を飲むとすぐに喉が渇く、なんでやて。何でかいうたら塩水やもん。そしたら、また2杯目の塩水を汲んで飲むがね。何でわかっことをやるかいって言うたら、喉が渇くが、だから、塩水をまた飲むわけや。飲むほどにどんどん飲むわけや。それぐらい金の原理っていうのはおもしろい。掴むともっと掴みたくなるだけのもんやて。あんたら、若いときはただやればそれで幸せのがて。それは今でいい。それは四十過ぎて、50にかかったときに金を持っとるか持たんかの瀬戸際やから。若いうちからたくさんの弾を持っとると、友達から嫌われる。あんたらちよりも長身で頭のいい者はいっぱいおったんやから。一番、軽蔑するのは頭のいいやつが頭の悪いやつが金なんか掴むとやっぱり軽蔑するがやて。「本当にあのバカ、どうして金もってない」人間ちゃ、そういう。恨みは持たんようにして生きにゃあかんよ。だから。一番怖い

のは焼きもち、恨みやから。そうやる？辛い、辛い言うところうちは、人は同情してくれる。鼻高帽子になると憎しみに変わってくるんやから。

真田 孔明：

でも、借金ってそういう意味ではいいですよ。表から見たら辛い、辛い。まだ、2億も借金あって・・・とかね。

北野会長：

2億、3億ぐらいまでが借金のネットかな？人間が考えたね。返されるかなと思っところやから。

メンバー：

一般的になってことですか。

北野会長：

そうそう。あんたみたいに17億やったらどっちでもええが。働いてどうのこうのできる数字じゃないから。そうやる？それが借金っていうのは増えてしまえば造作もない数字、借金やもん。そんなもんだのね、数字や。

メンバー：

そうなんですよ。ただの数字ですからね。

北野会長：

数字やよ。そんなもん返さんだから言うて誰もね、日本刀を持ってね、追い込みをかけてくるやつはいねえんやから。これ17億。裏金を持っとってみら。心配でね、本当にそうやる？これね、どうって取りに来るか毎日、心配しとらんなんから。これ表金は大丈夫なんやて。この裏金っていうやつはね、性悪女みたいなもんでさ。また、女のところにやっておくとね、失わないで減っていくからね。金っていうのはね、持つとね、あんたらちは持ちたいと思っところんやろ？持つとね、たくさん持つと不便なものやぞ。借金もバチン、3億ほど。銭も5億ほどにしとかれ。5億ほどならね、何となく、何となくわかるん。10億、20億、30億いって50億ほどになると肩がこってね。肩がこるようこっちに来る。だから、これがね、人に言うときは格好よくさ、金があるから関係ないよみたいなことを言えるんやけど、今度、金の管理せんなん。これもまたしんどいもんやぞ。金儲けはね、金の弾ありゃ簡単にできること。下がっても構わん、いつか上がるやろと。3年待つか、5年待つかゆっくり待ったらええ。こういうことができるようになるが。力やから金は。金はね、取りに行くやろ？なっかなか来ないんやて。金っていうのは。取りに行くと。だから、金っていうのは手を下に下ろして、こうやってそっと見るとばい菌のように増える。これがね、私、この新しい私の言葉と、金はそっとね、投資信託を買って、きのう言った20%、何か平均的に切ったような気がする。計算はしとらんよ。でも、27%が最高やったということは19やら17やら15ぐらいまであったから。20%切っところんでな

いか？でも、銀行の預金から見たら莫大に増えとるんやて、本当は。去年のさ、やっぱり40%そこそこの頭があるもんで、何か20%いうたら頭痛い。笑

メンバー：

笑

北野会長：

何か俺、貧乏しとるんでないかなと。と思うやて。投信は投信。でも、ワイン少し飲めるね、金さえありゃ、無駄遣いはしないんやから。今さら恋や愛や言うてみてもあやふやなもんやし。たくさん失敗したなと過去の足跡を振り返りながら反省しとるんやけど、上海も西安のところに行けばまた最近、回るやつがまだ知ってる。西安で床屋のあれがまた復活しとる。1台もなくなったのね、あの瞬間。今またどんどん、また立ち上がっているらしいよ。

真田 孔明：

シーアンジで。

北野会長：

シーアンジ言うの？

真田 孔明：

西の安の寺ですよ？

北野会長：

シーアンジ言うがて。俺はわからんから自分の読み方、西安寺。西安。いいとこやなと。本当にすごいよ。中国は数おっからさ。みんな、山から歩いて出てきてやからね。あの話し、ああいうものを聞いとるだけでも勉強になる。

真田 孔明：

確かに今だと電車に乗っちゃうとIDを全部、提出しないといけないんですけど、IDを持ってないやつがいっぱいいるんですよ。そして歩いて来る。

メンバー：

歩いて来るんですか？

真田 孔明：

電車とか飛行機は全部IDがいるんで。電車に乗るだけで。

メンバー：

歩いて来るんですか。今の時代に。

真田 孔明：

ID持っていない人いっぱいいるじゃないですか。乗れない。

北野会長：

それはおかしいやろ？江戸から博多までみんな昔、歩いたんやから。そんなもんね、中国にしてみたって。暇潰しに。

メンバー：

農村にはそういう人がいっぱいいるわけですね。

北野会長：

農村も。

真田 孔明：

IDがない人ね。

メンバー：

歩いて来て働く。

真田 孔明：

日本の人口より多い人数がIDないんですからね。すごいですよね。それ。

北野会長：

だから世の中、やっぱり広いわけやから、考え方を。オーバーワークで見ればそういう国はいっぱいある。これがやね、これからは皆さんに言うて失礼やけどバングラデシュでないかなと思うやちゃ。すごいよ。バングラデシュのあの人口の爆発の仕方。これからはあこやな。生きている限りはバングラデシュ。笑 あんなもんね、1,000万ほど持って行ったら王様みたいなもんやよ・・きっと。そう思わん。楽しい国で余生を送るのがこれが一番大事なこと。皆さんはまだ若いから必死に働らかれ。働き過ぎたら死ぬからチビチビと考えながら。

真田 孔明：

バングラデシュで居合抜き。

北野会長：

そうそう。

メンバー：

笑。

北野会長：

人間、本当にそんなもんやよ。20人ほどおって1人1万でも20万。バングラデシュでは大金やで。大金のがやて。だから、どうやって金を稼ぐちゃさ、まだ誰も何か見極めとらんけど、金を稼ぐちゃうちょっと真剣に図面を描くようになればわかる。決まっとるんやから。世の中にある例えば物販やる？あと賃貸とかさ。金貸しとかさ。娑婆にあるのは三つぐらいしかねえやからさ。その中のどこかの分野をやっとるいうだけなんやから。そうやる？いくら士の免許を持っとっても、金儲けとは全く俺から言うとは別なの。これは職業。職業。これは職業をやっとるんやて。ただ、これは職業。やくざ者もあれば職業や。詐欺師もあれば取り込み詐欺の人も職業やから。職業としてみんなやっとる。だから、職業はみな尊敬せなあかんやて。わしの場合にはただ金儲けが趣味やから、趣味。金儲けが趣味のやから。行儀悪いんやて。労働じゃねえから。ただ趣味で俺はやっとる。趣味は金儲け。ただこれだけが間違ごうとるんやて。会社をつくって遊んどるんやて。でも、こんなもん真剣にやっとってもね、あんたらちはね、俺、はっきり言うけど間違うとるよ。こんなもん真剣にやっとってもやぞ、いつか死ぬわけやろがいよ？いつか死ぬわけやで。だから、金儲けも使える銭だけ持っとっても一緒にないかなと思っで。最近、思うやて。ただ、俺は金儲けが好きやから、細工。魚釣りと一緒にやて。どうやってこの仕掛けをつくったら、うまく釣れるのかなとかさ。こういうことが好きなわけよ。だから趣味でやっとる・・・本当に。最近だから趣味がだんだんだんだん高じてね、パッと1カ月で大体7,000万ほど勝つ。7,000万。使えもせんがや。本当に。たった7,000万、稼いだいうて使いもせんや。また儲けたってしゃあない。そんなボートもほしくない。もう車でも何でもいいや。そんなことを思うたらそうか、せいぜい地中海のクルージングでも。ああいうことをしとると金かからんのやて。

真田 孔明：

奥様と一緒に、ずっと。

北野会長：

嫁が横におって、お前、背筋ぱっかりこうやって伸びてきてさ。船の中でも安い酒ばっか。何で俺の好きなヘネシーがないのかい。せめてヘネシーのXOぐらい飲ませてくれると思うとって何も無いが、安いやて。だから、人間ちゃさ、回転が逆回転しとるのか、最近、何かそんなことを思うてね。

真田 孔明：

地中海クルーズから帰ってきたら株価が上がっていたんですね？

北野会長：

俺の力とは全く関係ねえ？。ただ、降りて家に帰ったら見たらえらい株が上がっとる。ゴルフの先に売ってまえ、そんな感じやて。昨日、サッチェルが話したやん。320万で40万稼いだ。

真田 孔明：

今月はいくら？

サッチェル：

50~2ぐらい。

北野会長：

だから俺と一緒にのこをやってたら俺よりも腕がいいことや。俺はどんなに最低でも3億以上5億ぐらいかけてそれぐらいの金を稼いどるよ。5億ほどや。あんたが買っとる株価にゼロは弾は余計やけど。いっぱい目を張っとるんやて。ゴルフしない日にパッと朝、9時5分の寄付きを見たら、「え、青いや。みんな」いうて。iPadをこっちの電源入れて、1日やっとる。たまに気向くがやから、売ったやつで今度、横にメモをしとくわけ、メモ。さっき売ったやつ、下がっとるやで。今度、午後一番でまた買っとる、一緒に。作業をしとるわけよ。最後にプリントアウトでパンと押したときにお、今日は仕事したなとこういう感覚になるが。それをプリントアウトしたのを嫁に見せて、「今日は仕事をしました。」先日の旅費もね。全部、経費で十分対応できるこれ上がとったからこういうて言うとする。それを嫁が見て、「あんた、頑張ったね。ふん」みたいなもんでそれで終わり。これで明日の朝もまた来るわけよ、夜が明けて。このねパンとすれ違ったこの音。この瞬間だけのものやからね。金なんていうのは。この紙で儲かったいうて見せた瞬間で終わる。今日1日の全てが終わる。嫁は思うとするがて。私の使う金額が増えたなと思うて見とるわけ。俺はただ数字が増えたないうてと思うだけ。こういうね、バカな1日を過ごすよね、夜ね酒を飲みに行くよりも酒を飲まんでも酔うとする。数字に酔っとる本当。これはね、人間として本当に寂しい。酒飲みも元気がないが。数字に酔って。何か7,000万ちゃ、結構稼いだよな。瞬間に稼いでいるからみたいなことを思っとるんやけど、何かね、何かやり切れんようなものが半分。

メンバー：

日給7,000万。

北野会長：

そう。なかなかおらんやろ？でも秒速1億いう人もいる。

メンバー：

シンガポールにいるよね。

北野会長：

でも金っていうのはね、何かそんなようなもんでないかなと。あとね、金は無駄遣いせんほうがいい。金を貯めようと思ったら、無駄遣いを止めたほうが早い。さっきも言ったけど。無駄遣いこれが一番。本当に大事。今30%ってものすごいデカい。米の袋からでっかいこんな穴が開いてとるみたいなものやからね。女はそういう穴を開けるやて。クレオパトラの話し、どっかに書いてあったやろ？シーザーにアフリカ大陸を取ってこい言うがやから。女は言えんことないが。自分の野心と野望のために生きとるのが女やから。それを実行するために生きとるのが我々男さ。「行けっ」女が言うたらわーって槍を持って走るのがわしら。本当に。人間ね、バカなことを言うたらその程度。だから、生物としては全く違ったもの同士が一緒に屋根の下

で生活しとるということや。だから、怖い生物に楯突つかんこと。常に従順に生きとれば人間、失敗はないということや。楯突いたら終わりやよ。ほとんどは食い殺されるから。男が自殺する最大の原因は女が追い込むがやから。誰が追い込んだわけでないよ。かみさんが言うわけ。あんた、どうする、あんた、どうする。あんた、どうする。波のごとく追い詰めていくわけよ。女はさ、こんなに体が小さくて、体力、腕力もないやに永遠に生き残っとるやて。もっともう一つ。数が多いんやから。男よりも。この二つだけ取ってみてもいかにこの生物は強いかわかることを皆さんは知らにゃあかん。この生物にはかなわんということや、簡単に言うと。だから、服従して生きとらんと。ライオンに殺されんためにやで。おはようございますぐらい言う練習しとっても損はないよ。

北野会長：

昨日、俺と一緒にタバコを吸ったやつはどこかにおるはずやけど。

真田 孔明：

タバコに行っちゃったんじゃないですか。

北野会長：

悪いね。（酒ついでもらい）

メンバー：

いえいえ。

北野会長：

俺に酒をついどっても永遠やから。酒があるとね、人生が永遠のやて。俺の場合は。酒がガソリンみたいなもんやから。本当は酔っぱらっとるんやけど、酔いがわからんいうて。お前とよく似とる。でも、そこは少し演技が大事。

メンバー：

大丈夫です。中で吸って大丈夫らしいです。

北野会長：

早く言えよ。おい。

メンバー：

15分の最後のイベントで、喫煙タイムが。

北野会長：

無理、無駄、ムラいうけど大変なもんやぞ。ここでいいんやと。触らしてくれまで言うもんでタバコぐらいは大丈夫。大体こうやってあてがい口が出てきて終わりや。

メンバー：

会長、質問があるんですけど。2017年ぐらいに日銀の黒田さんの任期が終わるんですよ。終わったあと、どうなっちゃうのかな。

北野会長：

その下に永田というのがついとるんやけど、早稲田大学の教授をしとったやつがだから今の大騒ぎさしとる2,200兆を印刷せにゃあかん言うて騒いどるわけ。ほんで、孔明さんが一番の世の中の間違いを犯した1,000兆の借金を日本の国が一人でよう、この人、昔、書いとった。

真田 孔明：

2010年ごろのメルマガで。

メンバー：

僕もそう思っていました。

北野会長：

でも、この間からみんなネットを見とるんやろ？麻生さんが言っとるやね。借りたものはどっかへ貸しとるから借りた金が発生しとるだけ。本当はあんたたちにはっきり言いたくないけど、1,000兆ぐらいでねえよ。貸しとる銭はもっとデカイ。日本の国は。でも、一番貸しとるのはアメリカやから、アメリカ。あの父ちゃんがね、勝手に返さんから。ほとんど膨らましとるんやて。俺ね、あの文章を読んでからこの今の発想になったんやちゃ。アメリカは日本からどんどんどんどん借金しとっとるわね？

メンバー：

返さないですからね。

北野会長：

返しとるが。

メンバー：

返してますか？

北野会長：

返すけれども、返した分以上に借りる。

メンバー：

この手法ですか。

北野会長：

そう。

メンバー：

元本返さず金利だけ。

北野会長：

元本と金利を返すが、返す前に、返すけども、もがついた。「も」このもで勝負かかっとるが
ちゃ。

メンバー：

モアですね。笑

北野会長：

だから、いっぱい返すけれども、2杯よこせ。ってずっと取っていっとる。金利も払っとるんやよ。永遠に取ってとる。あのわからんね、国防費やら補助金やら助成金やら援助金やというてグロスで持って行っとるわけよ。これがアメリカのやり方。でも、どこの国が強いかいとるやっぱり世界ではやっぱりアメリカが強いわけよ。だから、これはすごいいやり方やなと。
「僕もああ、これはいいやり方や。これをコピーせにゃあかん」いうてコピーしとるわけや、わかる？返さんという問題になるがやて。また、戦争せんといかんやろ？だから、戦争はしないと。ただ、先に交渉しとく。融資してくれって言うただけなんやて。そんで、今、皆さんに言った投資信託は何が失敗しとるかいと設定は50円ほどの投資信託のブラジルリアルこれね。ブラジルリアル。みんな、ほとんどわかつと。今、50円で設定、今日は36円か。そこらぐらいで動いとる。減っとるわけや。これがもとに戻れば利回りもかなりよくなるがやて。ところが、いろいろブラジルの事情もあってここグズグズしとるわけ。40円ぐらいで。でも、たまに突き抜けたら50円、突き抜けたらまた危険のがちゃ。70円、80円なつか、100円になつかわからん、経済もいろいろある。それは何がいうたら、ブラジルは資源を持っとるやろ？経済が回ってしまえばあの国はやっぱり一番ほっといても伸びてんがやから、ということと同じ。だから、中国が今、日本の近海に来てさ、中国の一番弱いところは資源がないが。あこの国にあるものはレアメタルだけ。レアメタルも今じゃ日本も世界も日本の近海にホースを何か入れてさ、泥から何ぼでも取れるんやから。価値はなくなったわけや。だから、中国経済も20%いうてから15%になって衰退してとるわけ。そこで政府が考えたのは株のバブルを起こそうと。ということでやったんやけど、住宅も株式も頓挫しとるわけや。だから、チャンスがある、これからチャンスが出てくるかもしれない。でも、中国は日本より少しGDPが余計になったんやから・・・少し。今、実質的にもまだ日本のほうが俺は上でないかなと思う。今、アメリカの父ちゃんのあの無駄遣いは永遠に止まらんが。父ちゃんの無駄遣いは永遠やから。だから、貸しとる銭がもう700兆、800兆になっても返す気がねえや、あれ。俺と一緒にやもん。わかる？返す、返すは一緒のがやちゃ。どんどん増えていくやつやから、でも、母ちゃんにしたら弱いところがあるがやて。父ちゃんが守ってくれんだら、私、強姦されるかもしれんよ。心配あるやろがよ。横にまたね、デブがおっからデブ。デブはくつついとるやちゃ。でも、やんちゃの坊やも1人おるし。やっぱし日本は離すことはできんから、だから結局はやっぱりくつついていくんでないかなと思うね。永遠に。だから、結局、過大な要求をされても今の安保も嫌って言えんわけやねん。俺、うちそれとも二つ言うとるんやて、アメリカが。軍隊を出してくれるか、

金を出してくれる？わかる？こっちかこっちか、二者一択やから。選択の自由やってこう言う
とるわけや。日本もそんなに思っとったんやけど、最近また景気がいいやろ？黒田さんがやっ
てさ、訳のわからんことをやとるから。これでまた200兆も厚くしてみいよ。皆さんの借入
が3倍は増えるよ。何もせんでも。

メンバー：

お～

北野会長：

決算書は黒字。決算書を黒字。借入金を3倍と。私たちはもう楽天が。経済諮問委員会に入っ
とるんやから、野村より株価は高いんだから。ということを考えればやっぱり楽天について行
く。こういうことなんやちゃ経済は。昔はオリックスについとった時期があった。今はやっぱ
り楽天。600円ほどの株が今、2,100円もしとるんやから。大体おかしいや、世の中。そこに
テコを入れとるのが昨日も言ったとおり、お客さんを騙して金を取る証券手法はもう終わった。
これからは清く、正しく、美しくと。こういうことを言っとるわけや。安倍さんもそれに賛成
しとるわけや。だから、そういう時代が変わっていったとるわけ。だから、医療費も30兆も40
兆もね、バカバカ使こう。介護保険もつくったんやから、医療費30兆、介護保険費30兆いう
て、これ2000年に橋本政権の時代にこれを制定したわけ。そのとおりに33兆、35兆ぐらいま
で左側に行っとっけど介護保険もどんどんもう10兆、超えてきとるわけ。これをだから1対1
にせんといかんと。全体で60兆、70兆ぐらいで収めたいと。そうしないと150兆ぐらいかか
る。これだけで。150兆かかるいうことはもう日本の国家は破綻してしまとるわけや。破綻
せんためにだから、下り経済の中で伸びてきてるのは今のばらまき経済が伸びてきとる。バン
バン印刷して貸し出すと。銀行もまだ多いから統合させて地方銀行も。そうになったら今度、何
になるかということみんな、次の時代はわからんやろ？今度は金利が上がる時代に入ってくるん
やから。今の日本国家はね、何を考えとるいうたら200兆を増発して、イギリスのような国家
にしたいというのが日本の国家の夢。夢。ドリーム。ジャパニーズ・ドリーム。わしらみたい
な半端者に金をいっぱいやって、投資信託を買わして金儲けさせるやろ？そしたら、孔明さん
がいつも書いとるやん。投資信託で配当をもらうたらどンドン20%入る、日本ピンは
ね興業やから。ピンはねするわけよ。そうしたら今のイギリスみたいな国家になるんじゃない
かと。あんな煙を炊いてさ、パーっと煙を炊いて公害になるいう国家を選ぶか、今のように日
本ピンはね興業、金持ちに金を全部配って、配当金20%ずつ取っとりゃ楽や。

真田 孔明：

金持ちにだけ配って。

北野会長：

貧乏人には配らんわけよ。だから、俺はずっと言っているのはそこやて。でも、本当、今ね、
日本の国家が望んだのは、本当は今の後者のほうやから。だから、金をどンドン借りてくれる
人が倒れない会社。個人じゃないけど。今ね、望んだのがそこのがて。だから、我々には今、

チャンスがあるが。このね、本当に200兆、バーっとやったらすごいこと起きるよ。あれは今は半端者やけど、みんな金はふんだんに来る。でも、会社勤めしとる人にはね・・・

メンバー：

こないですね。

真田 孔明：

1円も来ないですね。

北野会長：

1円もこんがよ。給料は年に2,000円ぐらい上がるけど。2,000円になっとる。僕が聞いた話しやよ。

真田 孔明：

居合抜き1回。

北野会長：

だからあんたらちは居合抜きが小さいなと思っとるやろ？あれぐらいデカイゲームはねえ・・・
本当は。本当はデカイゲーム。今はまだ弾、あまりデカイこと持たんから小さく感じとる。でも、これね、投信で5億ほど銭を積んどきゃ、15億やらんでもゴハヨンジュウで4億ほど居合抜きの練習をしようかな。そんな4億まで玉を立てられん。今の時代は上がり経済やから玉は立てられんのやて、絶対に立たんがやから。玉が立たんがやて。4億をボタン押しても次の日、みんな上がっても何でもいいから青は全部切る。俺の場合は関係ない。数字なんか見ない、ただ切るが。数字を見てね、欲をこいと思ったら絶対ね、金持ちになれん。覚えとかれ。金の桁を気にしとるようでちゃあかんがやて。金なんて所詮は数字やと思って切って切って切りまくる。あとは頂上へ上るのを待っとる。ここの最後の1手。金持ちになるかならんかは。この頂上から切る勇気があるか。さらわれるか二つに一つや。そんなね、TDの20円ぐらいでね、ビビとったらね、大勝負はできん。

真田 孔明：

よくわかっていらっしゃる。

メンバー：

笑

北野会長：

要は何で覚えとる。ホント人間ちゃ、ホントそんなや。このね、最後のこの右足じゃなくて、左足を前に1歩出して肩口から切り込むこの厳しいこの角度。この一瞬で何億ぐらいはあっちゃう間に掴める。銭いらんがやから、売りやから。

真田 孔明：

売りの10倍ってどういうことなんですかね。売りが10倍なんですか？

北野会長：

売りは違う。売っとる金には銭をつけんでもいい。失敗したら逃げればいい。これぐらいの勢いがないとね、成功はできんの。でもリーマンショックで金、払わん者どれだけおると思って？。でも、皆さんおかしいなと全然、思うたことないやろ？リーマンショックで建った家は日本に建った？リーマンショックで家は。あれ全部、建った。アメリカに建ったんやて？家は。家は建ったの。アメリカに建ったが。おかしいんでない。でも、飛んだのはアメリカやろ？世界の投資家がどんどん買うとったわけやないかい。二束三文になったわけやろ？資産はどこに行った？日本に来たの？ヨーロッパに行ったの？ロシアに行った？全部アメリカに残ったわけよ。俺から言うと、あれは取り込み詐欺でないかなと・・・俺から見たら。おかしいんでない？投資した国も全部アメリカやろ。飛ばしたのはアメリカや。でも、残ったの全部あれアメリカに残ったんよ。

真田 孔明：

世界から金を集めて。家を建てさせて飛ばすと・・・確かに。でも現物は残っていると。

北野会長：

だから、皆さんはリーマンショックいうたら何か変なことを思っと思っけど、俺から見るとはっきりゆっくり彼のように見ると。おかしいやろ？おかしいやろ？あれ、全部アメリカに残っとる。変わったのは住宅の価格価値が変わった。金持ちはあれ全部、最後に債権を全部、買っとるわけや紙を。また不動産屋におい、お前、売れ、売れいうて売らしとるわけよ。必ず、最後には持ち直したいうて。これはあんたらちは知らんけど、これは昔から永遠にこういうことをやとるやよ。永遠。あのね、80円から120円になんてなった？日本が80円やろ。母ちゃん言うわけよ。もう、財布に銭がもう切れとると。「父ちゃん、父ちゃん、あんた何かせにや政策を変えなにゃあかんがないか？」と。そんならお前、5割ぐらい増やさんと、というアメリカやから80円がお前、120円になっとるだけのがよ。マトリックスと同じさ・・・決まっとる。父ちゃんの財布の中に銭なかったら戦争できんがやて。あれ戦争しとる父ちゃんやからきつついが、わかる？あれ、バナナしか食べん父ちゃんになったらもういらんわけよ。わかる？あれ第七艦隊を日本の地図の横におっからきつついわけよ。わかった？目はチラつかさんと。この一言が大事や。それぐらいごまかしがないと世の中ちゃうまく渡っていけん。だから20年。苦節20年。デフレになったいうて。誰がデフレにしたんやて。そうやろ？だから、母ちゃんが銭を持っとる。まだ懷に銭を持っとるてわかっとるんや。父ちゃん。まだ母ちゃんは銭を隠しとっと思うからどんだけでも取りに来る。母ちゃんがもう銭ないよと。父ちゃん、弱ったわけや。わかる？父ちゃんは1年分は返すよ。でも、次の年、貸してくれいうて貸してくれんだら弱るか。アメリカ経済が今度おかしくなっていく。そうやろ？貸してもらわんだら。どんどん膨らましとる。もとはね、俺が知ったときは300兆か400兆。今はもう700兆か800兆になっとる。でも全く返す気ないわね。元本と金利は払うとるがやちゃ。でも、それ以上に借りとるやつやから。俺はあの原理を聞いてから、世の中ちゃさ、こんなもんなのかと。だか

ら、さっき皆さんに言うた。返すものと借りるものを借りるほうを余計にしていぎゃ永遠につながる。

メンバー：

あれですよ。小泉内閣のときの郵政民営化もアメリカにお金を回すために。

北野会長：

やったんやて。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

そうそう。あれはまさしく典型的な。だから、小泉内閣は長く。今、安倍内閣はもっと長く続く。何でもか言うたら、弾を回す政権はアメリカにとったらいい母ちゃんのがやから。いい母ちゃんなの。これ、かっぱえびせんみたいなもん。やめられないとまらないから。ホンマひどいの。

メンバー：

会長、何か小説的な何か自分の中の推理なんですけど、東京案件ってほとんどがユーロ債っていうやつに入れているんですよ。ユーロ債って何って見たときに日本以外の国債なんです。だから、もうめちゃくちゃあやふやなんです。僕はそれを通じてアメリカの国債を買って金を入れているのかなみたいに。

北野会長：

ほとんどがアメリカ。ほとんどアメリカ。ほとんどね。

メンバー：

でも、アメリカ債とは言ってないですよ。ユーロ債みたいな。

北野会長：

だからそれはぼやかしとるだけで。だから、日本のね、決算書にはね、国民から借りた金は1,000兆になった、1,000兆を超えたみたいなことを書いてあるんやて。貸しとる国の名前、どこかに書いてあった。1枚か誰か紙持っとる？1回も見たことない。誰もが。

北野会長：

そもそも何かアメリカに「アメリカに貸してますって言ったら、え」ってなっちゃうじゃないですか。アメリカに貸しまくっています。ユーロ債でボヤンとさしておいて実は。間接的に貸している。こうやって貸すんじゃなくて、こうこう貸しているのかなみたいな。

北野会長：

今ね、アメリカの次に多いのはブラジル、それからトルコ。これは金利がいい。あとはアジア諸国。アジアから抜擢された人があの黒田さん。あの人は今までね、白川総裁の代もずっと続いた。あの系列が、総裁は。そのときに一番反目を打ったのが黒田さんや。ところが反目を打っててもずっとこの白川総裁のところまであこまではね、みんな青い顔をした人のメガネをかけた人が総裁。そうやろ？あれまでは総裁、日銀の総裁ったら大体、青い顔をして下を向いて大きなメガネをかけてずっと国民の目を見んない。最近は違うんやて。黒田さんは違う。実態経済が違うんやから。アジアをつくった人やからあの人。アジアに高利で金を貸した人や。だから、カモが誰か知っとるわけや。

メンバー：

結局、会長、次の任期で降りちゃうんですかね。黒田さんは？

北野会長：

降りても一緒さ。

メンバー：

一緒。

北野会長：

一緒。

メンバー：

方針は一緒ってということですか？

北野会長：

方針が一緒やし、安倍さんらちを総理大臣にすると同じ原理。だから、金を持たせるとどれだけじじになっても権力ちゃ何か言うたら金のがやから。権力ちゃ金なの。金の桁のがやから。だから、永遠にその人に権力が・・金を集める力があれば田中と一緒にさ。田中が何で弱くなったかいったら金を集める力がなくなったから弱くなった。でも、森さんなんかは、森さんの何か社説を読んでみられ。小沢さんにどんだけ餅代やるから言うていじめられたか。そんなのわからんほどいじめられとる。だから、今、今度、何か赤坂プリンスが完成したら森さんは何かパーティーをやることみたいなことを言うとる。パーティーに行って、金を、封筒をこう持って行くとさ、今こそ、我が世の春やと。この俺に楯突かれる者はおらん。大体、昨日やおとといあのね、競技場が滑ったから。1,000億ほど滑ったわけや。彼もあまり気分がよくないのはそういうこと。どの時代も金を持っとるやつが権力を握る、永遠にそうや。男も女も永遠にそう。金のないうちはやっぱり貧乏や。だから、昨日言ったやん。あんたらち、みんな言うた。貧乏暇なしやて。貧乏になると暇がなくなるが。考える時間がなくなるが。

メンバー：

そのとたん。

北野会長：

だから考える時間を多くしなきゃ勝てんよ言う。これは俺の永遠に言いたいこと。考えんと行動する、考えて行動する。バカと一緒にやから。考えていい図面を描いて完成したら行動に移さなきゃさ。だから、投信なんていうのはその小学生の1年生の議題やから。昨日も言ったけど、20%割ったって。定期預金が0.01%やる？そこから見たら利回りいいもんや。あとは皆さんは借りる金をどんどん増やしゃえんやから。返済。返済は言いわけする。そんなまともに返済なんてね、バカなことと思ったら人生、終わってしまうよ。終わってしまうんやから。自分が例えば5億借金して、きちんと返済していくために儲けんならん錢ちゃ3億ほど。わかった？税金との闘いになっていってしまう。昔から頭いいからそれをね、経理士の先生に書いてもらったが。最初にデカイ穴を掘る下に。これをね、埋め立ての原理でやっていくと死ぬまで返済できんが。昨日もサラっと言ったけど、ホントそんなんよ。3億ぐらいでね、ネットや。例えば5,000万の利益をだから永遠に出して行って、3億の借金その人がさ、返して、ペイになる。そこから固定資産税とか全部、払って借金返済して利息を払って回って行ってペイにならん。どれだけかい。40からやって永遠に生きられる？そうやる？ネットは必ず。商売のいい時期もせいぜい今の商売なら10年がいいとこや。俺はしぶといから。しぶといんや。42年か。3年目ぐらい生きとる。これは知恵の輪さ。知恵の輪。知恵の輪のがやから。若い社長をつくっておけば歳いった俺が代表者になると銀行は心配するがやさ。歳いっとっから。野郎、いつ死ぬかもわからんがやから。こう思うやろ。だから、若い社長をいっぱいつくっていくわけよ。あとは指図しておれ。どんだけ指図しとっても寿命は決まっとる。ところがね、みんな金持ちが必ず陥るこのゲームもまたある。これは何か言うたら自分でずっとやるやろ？自分の代を。最後は腹が立つから全部どっかへ寄附するとかさ。こうほとんどそうや。

真田 孔明：

多いですね。

北野会長：

多い。これはね、最後になったら歳いくやろ。女も抱けん、飯も余計食えん。酒も飲めんようになる。そうすると決まっとる。慈善団体にバッと寄附してさ。うっぶん晴らしや。俺は、はしかいからそういうことはしない。俺は若い者にお前ら社長になってやっていけと・・・ダラダラと。ノウハウを教えたほうがいいと。シンガポールにおける誰やったっけな。投資家おる。ウォーレン・バフェットもアメリカにおっけど、みんな一緒や。最後になったらもう全部、寄附しかねえ。何でやって持っとってもどうしようもねえやから。それが数字や。使える錢でないものを持ったらね、結局、管理のほうに頭を使わない。そっちのほうがよっぽどしんどい本当。俺はジェントルマンやから大丈夫や。俺の場合はそこそこ使って。わしは最近孫にまで投資。

真田 孔明：

貸し付けてる。

北野会長：

貸し付けしとる。孫、字を書けるもんで借用書まで取っとる。これぐらい。

真田 孔明：

サインをこうやって。名前を。

北野会長：

これはね、俺は東大にやるよりもこの投資の世界だけは永遠にあるがやちゃ。例えば社会がどんだけ高へ上がっても、これはあるよ。第3次世界大戦でもやってさ、みんなミサイルでも打ち上げ花火やれば別やよ。そうでない限りはこれ永遠や。だから、働くよりも数字のマジックで自分が使う分ぐらいをピンはねしようとしたら、アメリカでもほとんどね、金持ちになった人はほとんど投信で金持ちになった。ほんで庶民は株をやっとる。笑った泣いた、笑った泣いたいうてやっとるわけや必ずね、どこかのサイクルでみんな取られる。昨日も言ったとおりね、人間は不安感、不安になるともうどうしようもなく最後、売りに出るがやちゃ。それ全部取るが投資家。この二つだけの原理を頭の中に入れておけば金儲けは簡単。だから、前から言った三寒四温やて。三寒四温、知っとるんから。3日下がれば4日上がる。これが永遠の上がりゲームさ。俺はだからそれを皆さんに言うてる。これをこうやって沿って行けばいい。斜めに上がる。こんなにかからん。あれはゆっくりしたゲームやから。辻斬りはこっちやから。辻斬りはこっちやから。真っ逆さまに肩の力をこっちに降る。これが一番儲かる、一瞬にして儲かる。1カ月このゲームが続いたら一番儲かるのがこれや。これに勝るゲームはない。だから、毎日下がるまでは毎日、居合抜きで練習をしとくと。上がるゲームを練習。

真田 孔明：

上がるゲームが居合抜き。

北野会長：

下がるゲームは辻斬りやから。これはデカイ。一瞬にしてね、銭の1億や10億あっちゅう間。あっちゅう間。そんなの乗るか反るかやから。だから俺は前から言うてる。孔明さんに言うてる。物書きはお前やけど、10億、1発で掴むときは売りしかねえ。だから、この前のときに言うた。ビル・ゲイツが何で一番なのか。てめえのところの会社の株を売っとるんやから、だから一番さ。あれやっぱりメンバーがおるわけや。メンバーが。ランダムに売りをかけるわけやないかいね。てめえのところの株をめいっぱい下げて、お前、自分は銭、いっぱい拾うやさ。業績、上げるのは簡単やる？こういうゲームをやっとるわけやないかい。これが金のゲームいうて昔から日本でもこれやっとるよ、本当は。わしらたまたまそのね、情報を拾って、少しだけ甘い目に遭うとる。甘い目にね。だから、TDの話しも、もともと8,800円。今、800円。と思えば10分の1あんなもん一緒なゲームさ。ゲーム。ゲーム。今の日本のゼネコンも一緒。ゼネコンでみんなね、1,000億を国から取って食べようなんてバカなことを言うからあんなも

ん流れる。もともと1,350億ほどで手打ちをしておけば1,500億。みんな不動産屋とね、建築はぼったくりやから。あんなもん大体ほとんどがね、やっぱそういう気質が違うやて。だから、やっぱりね、デカイ銭を取りに来るがて。ゼネコンなんて特にやっぱり20年、痛い目に遭うところから一気に息を吹き返したいから。Mさんと組んでさ、1,000億円ほどさ、先生、山分けにしましょうと。いう話しは聞いたことないけど、大体レースはそんなもんや。

真田 孔明：

ラグビーのボールを持ってこうやっていた。

北野会長：

人はね、経済はそうやって回るとるんやから。だから考え方が甘いとやっぱりやられる。考え方をきちんと持って働かんとじっと見つめとると物は見える。あんたは行政を見つめとっとから行政に嫌われる。行政が迫ってきたら怯えとらん。形だけでもええんやから。女はさ、強姦するいうたらキャー言うなかい。お前、それができんから芸人ではない。そこはやっぱりそうやって手打ちしていかな。あとは自分の意思を貫かんこと。

メンバー：

貫かないこと。

北野会長：

徐々に階段を下りながら妥協していくがやて。妥協。あとは理事長？あんたの世界。社長か理事が知らんけども。どちらかのものの。そこをやっぱ妥協しながら相手を自分の懐に中に入れていかんと。妥協すればその担当者は全部に妥協してんがやから、最後は自分の駒になって動くわけなんやて。だから、自分の駒にするのか敵にするのかっていう一番あんたにすると難しい、恐らく要に来とるなと思う。やっぱそれよりも相手を包み込んであげたほうがいい。そういうことがね、すごい大事。生きとる中にね。生きとる中に大事。どこかで妥協していかんと。全ては。奥さんとも。親とも。友達とも妥協していかんと。でも、自分だけが伸びたら友達はひがむよ。もう、あんたらち、もうひがまれとる者いっぱいおるわけ。ひがんどる者を味方につけて自分が伸びていくがか。ひがまれとるガキどもに足を引っ張られて自分が沈んでいくがか。こういう具合に考えればどっちが得かい。損得ははっきりしとる。

真田 孔明：

会長のを見ていてすごいところって、プライベートで業者さんが全部、味方になっていきますよね。業者さんと何かすごい家族ぐるみのつき合いをしているなと思って。結構、みんな業者さんって敵になっていく人、多いんですよ。

北野会長：

それは違うよ。だから、危ない者ほど味方につけてけばきつ。政治も全部、一緒。金っていうのは全部そう。金は寂しがり屋。わかった。金は寂しがり屋。ばい菌のように増えるって

いう原理から言えば、寂しい者には愛の手をと。愛ほどあやふやなものはないけど、愛だ、恋は大事で・・そこで笑うところじゃねえよ。そういうことしとっと失敗するよ。本当。

メンバー：

勉強になります。

北野会長：

孔明、お前だけ飲んでおいしいか。俺、何か今日もホンマ飲み過ぎたわの。飲み過ぎたけど、どんだけでも入るのが、俺の弱いところなの。結構、人間、内気、内向的やから飲むとちょっとだけやけど強気になれるね。

メンバー：

今、みんな会長にお願いするときだよ。飲み過ぎたとき。

北野会長：

あのね、銭もね、失礼やけど10億超えたら銭は本当にばい菌のように増えていく、ばい菌やから。ホントひどい。俺も困っとる。そんなに暴れないでみたいな。これね、1億から10億のこの端境期があんがやちゃ。1億までは作りにくい、10億になるとね、増えていけば5億ずつ増えていくんやから簡単。でも、ブラックのおじさんらちに言わせると、もっと簡単だと。100億掴んだら1,000億なんてあっちゅう間になるんがやと。それがいい話ししか来んから。セレクトされてくるやと。100億ほどね、少年が掴んだら。何かそういう少年いう単語には何かちょっとムカっときとるけど、1,000億なんてあっちゅう間になると。俺はあれを聞いてから何か最近、すがすがしい気持ちで朝を見たような気持ちでおるけど。そこまで行く。だから、それから下の単位は皆さんに一生懸命、教えてあげたほうがいいのかなと。たかじんの何とか委員会というのがあったやないかいね。テレビでやっとるやろ？

メンバー：

そこまで言って委員会。

北野会長：

すごい。お前。日本におんがかいよ？ホンマに。ホントそんなような感じ。10億ぐらいまで我慢して集めてしまえばあとは簡単や、簡単。そんなもんね、だから計算式は合っとる以上は大丈夫なんやから。でも、本当や。今、いくら。みんないくら持っとるか俺は知らんけども、どっかまで3,000万、5,000万、借金を余計したほうが絶対に銭はたまる。それわかるやろ？1%で借りて、31%でまた30%増えていくがやから。体積だって大きいほどが余計増えるやて。だから、俺はね、最終的にはね、今は30%ぐらい求めとる。でも、最終的には10%以下でいいなと。ロットが大きくなればそんなによくせんでもさ。

メンバー：

はい

北野会長：

経営っていうのは俺は思うんやけど、よく考えて行動すれば2,000万でも2億でも借金して何もせんでも返済金はあるんやから。使わにゃ。わかった。使わなければ。ずっと考えとってもずっと生きられる日はあるがやから。わかる？そういうことを思って生きてほしいなと思うやて。必死に働くとかさ、無駄な動きをせんとよく考えてこうやって20人、ここに25人かそこからメンバーがおるわけやろ？プラチナか何かのメンバーは。海外勢も含めてやよ。みんなで話し合ってあればそんなに失敗はせん。だから、株でも例えば350円で買って失敗した。300円で買って失敗と。随分と下がっていくのがわかれば、会社が潰れん以上は一番そこで買ったものを必ず勝つがに決まっとるんやから。これがだから情報や。みんな携帯電話を持っているし、情報もメール1本で送れる。そこを大事にしてほしいなと。あと、最後は。最後は俺が指示を一つ打つから、そのときにみんなが金を失うか、大金持ちになるかは。それは俺は。俺もここでは保証はできんが。でも、俺は乗るか反るかには今までは乗ってきたタイプやから。乗ってきたタイプやから。どこかでは勝負をかける。そのために皆さんに言うとりわけや。お前、そういうね、俺はね、そういう細かいところにはね、余り興味がない。

店員：

お時間になります。済みません。

北野会長：

ビールなかった？もう1本残っとるビールとかない。

店員：

済みません。ございました。

北野会長：

あった。

店員：

ビールですね。冷蔵庫にありました。

北野会長：

それ持って来てよ。

店員：

はい。かしこまりました。

北野会長：

ほら。何でも頼べばさ。

メンバー：

願いは叶う。

メンバー：

海外の情勢を見て、そういうところにも仕込んでるのですか？

メンバー：

10億ぐらい？

北野会長：

10億は仕込んでる。金儲けっていうのは簡単や。そうやって考えると。俺の場合は全部が資本金は借金やから。借金。俺、二十から商売をやて。21から商売をやっとるんやけど。金っていうのはなかったもん。

真田 孔明：

最初から借金なんですよ。最初のスタートから。

北野会長：

最初から借金さ。

真田 孔明：

10万円からスタートで。

北野会長：

10万円の定期預金をすっから30万、貸してくれいう男やから。30万円借りた定期預金すっから50万貸してくれ。50万貸してくれたら50万を定期預金にすっから100万円貸してくれいう男やから。全く・・・でもね、資本金いうやろ。資本が増えたほうが絶対に儲かるんやから、銭は。

メンバー：

最初の発想はどこから思いつかれたんですか。それは。

北野会長：

金がないからさ。金がないわけや。

メンバー：

わらしべ長者作戦みたいな。

北野会長：

俺は、プランクトンがイワシを食う。イワシがアジを食う。そのアジをクラゲが食う。クラゲは。こういうタイプなんやて。考えとることが。

真田 孔明：

会長が前、おっしゃっていたんですよ。会長も東大出身なんですよ。灯台が建っている。灯台出身。すごいツボだったんですけど。

北野会長：

俺ね、皆さんに失礼やけど、学問なんて全然わからんが。見えたのはせいぜい居合抜き。あとは何が見えたいうても金に固執しとるから。一般知識、全くゼロみたいなもんや。あとはせいぜい釣りが好きやとかさ。ゴルフが好きやとか。暇やから。それ以外、あんまり考えない。考えてもしょうがないの。

真田 孔明：

会長も49歳ぐらいまでは物販を結構、真面目にやられていた。

北野会長：

あれはうちの若い衆が真面目にやとった。俺は別に会社なんていうのは余りどうでもいいや、どうでもいい。俺がはさ、どうでもいいが。社長が死なん限りは会社は生きとるわけやから。俺が思っとるのは今も一緒。

真田 孔明：

納税できる弾があればいいんですよね？

北野会長：

孔明、全然、違う。それはね、あんた物書き。1億、持っとるよりも100億、持とったほうが銀行の支店長に100億、持っとる言うたほうが銀行の支店長、安心して貸してくれるだけ。これね、みんな覚えといて。人と会うやろ。何十回も言った。余っとるのは銭や。いう友達を持っとるのか。金ないんだよね。お前、コーヒー代払ってくれよと。あかんが、これは。これはね、女も喜ばんが。お、お前銭、余っとるんやから。こう言うたほうが女は喜ぶんやから。人間も一緒。会った瞬間にさ、俺、銭ないからお前、払っておいてくれ。これ嫌だろ聞いたら。だから、銭は余とったって言うたほうが付き合いやすいということ。俺が言うのは。そんなの誰がさ、銭、余っとるかお前の財布、見せてくれという人、誰もいないやろ？俺はしょっちゅう皆さんに言うとるんやけど、なかなか通じんがの。おい、そこにビールまだあっから。ワインがなくなった。俺ね、吸血鬼と一緒にやから。アルコールがあるうちは永遠に飲むいうタイプ。俺の場合は正直やから、知っとることは何でも教えてあげるよ。皆さんよりも二、三十歳が上やから。そうやろ。お前、洋服屋やったっけ？

メンバー：

そうです。

北野会長：

そうやる。お前、30分延長したときこんなにたくさんビール飲めるんやから。いかにまめによいしょにプレゼントが大事かいう。決定的な瞬間やから。ここいいよ。ここはコンパクトでちょうど入られるメンバーがおっから。

真田 孔明：

余り外だとほかの人がダンボになって。耳ダンボになって。何を話しているんだろう、あの人は。

北野会長：

昨日の店で30万ほどやから。ここのほうがコンパクトで。僕の場合は。趣味はお仕事。道楽は貯蓄。聞いた？趣味は、道楽は貯蓄。好きな言葉は。

メンバー：

節約。

北野会長：

節約。節約や ちゃの。この節約いうこの単語がはっきりわからんやつは一生ね、貧乏するね。ホント一生貧乏する。この金はさ、入ってきた金を下に流せば1円も残らんがやから。入って来る金を多くして出る金をしぼめるだけで金っていうのは残る。これだけ。これだけ。この一言をわかれば全てが成功する。俺は皆さんに言うとする。金、余っとる。皆さんから見たら俺が一番、金持ちに決まっとるんやて。あんたらちは俺のように人の前でさ、20人の人間を前にしてさ、おい、金余っとるからと言えんやろ？ということは金がない。ということは逆に言うとはったりが効いとらんいうこと。はったりが効いてない。俺の場合は20人、前におっても余っとるのは金だけやからって、こう横柄な態度を取ることが。これが金の力。これが金の力。わかった。金の力ちゃ、はったりのがやから。

メンバー：

はったり。

北野会長：

はったりが金の力。女を口説くときよ。金が余っとるんやから、お願いします。こう言うたほうが早いんやから。これが絶対に早い。

メンバー：

それは間違いないですね。

北野会長：

そうやる。

北野会長：

人間ちゃ、みんな一緒のがやから、一緒。このねABがイコール、一緒ちゃさ、AとBはイコールがやから。ABCがイコールになれば全てやから。ABCがイコールなんやから。こう思えば人間ってというのは単純なもの。いいこと言うね。今日。さすが17億しか借金ないんやから。そんなもんね、170億、借りて17億の借金を、そんなもん誰でもできること。経済は桁じゃねえ、数字のトリックやから。

メンバー：

それしかないですね。

北野会長：

借金も。170億したら返さにゃそれで自分のものやから。

メンバー：

確かに。

北野会長：

あのね、どんだけ銀行から借金170億しても、返さんでも誰もね、日本刀を持って、鉄砲を持って殺しに来るの誰もおらんがやから。みんな覚えておけよ。借りたものがきつついんやから。貸したものは弱いんやから。俺が返さんいうたらお前、弱るのは相手や。矢でも鉄砲でも持って来い言うたって、ネクタイ。あれは肉体関係じゃない。ネクタイ。あれは肉体関係じゃない。あれはネクタイをしとる人やから。ああいう人はね、根性ないが。わかった？あれ絶対に日本刀を持って誰も刺しに来んよ。

メンバー：

確かに。

北野会長：

そうやる。

メンバー：

はい。

北野会長：

来ないやる？だから知らん顔しとけ。そんなところにね、悩む必要はねえ。いつかは頼むよみたいなことで。俺なんか、だから、金はばい菌のように増えるっていうのはそこ。金っていうのはね、持つとね、返さんとさ、減らんがやちゃね。わかる？1%で金を借りとるやる？10%

で回すやる。金っていうのは引き算やから。さっきも言った11から1を引けきゃ10%に増えていくがやから。普通の女やったらただのデブになるみたいなもん。こういう具合に考えておくとわかりやすい。でも、デブになると魅力はなくなるの。笑 これはスマートとデブの違い。おい、そこの少年。ちょっとビール。いつも言われとる俺。少年。

メンバー：

たまには言い返して。

北野会長：

酒もビールもそうやけど、永遠に取る気持ちがなかったら取れんがね。飲む気持ちがなかったら飲めんが。必死に働いても銭は残らんがや。みんなは本当に銭、欲しいなと思ったら俺の後ろについてきて。俺は銭儲けだけは天才的やから。

メンバー：

後ろについて来たらいいそうです。

メンバー：

間違いなく。

北野会長：

全然違う。金の儲け方が違うんやて、儲け方が。空手の型みたいなもんで。形が違うんやから。皆さんが受けた教育と俺の言っとなることが真逆。昨日も言った。手の表と裏と一緒にのもんやて。本当は手のがちゃ。誰が表と裏と誰が区別できる？区別できんが。金っていうのは知っとる。金っていうのは、左手で取らにゃあかん。

メンバー：

左手ですか？

北野会長：

そう。金ちゃ、左手で掴むのが金やでや。左手。金っていうのは左手で掴まんと金じゃねえ。金っていうのは左手で掴む。右手っていうのは毎日の生活のために動いとる手。金は全然、違ったところに生きとる永遠に。これは永遠や。金っていうのは全然、違うところに生きとる。この金の区別ができんやつは金持ちになれんが。あのね、金の区別ができんやつは10億までいっても100億になれんがて。俺は100億から1,000億を狙っとる。そうやる？これが人間の心理さ。人間の心理ちゃみんなそんなもん。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

アニハンセヨ、金、貸せよ。帰るよ。おい、みんな帰るよ。

メンバー：

ありがとうございました。